

平成 28 年度 国際連携研究助成 採択者

〔研究者〕	
	氏名 奥山 信一 (オクヤマ シンイチ) 所属 環境・社会理工学院建築学系 職名 教授
〔タイトル〕	
国際的建築家育成を目指した国際デザインワークショップ	
〔背景〕	
<p>本学建築学系は、2003 年より毎年 11 月の 2 週間、上海・同済大学、南京・東南大学、ベルリン工科大学など、国際的な大学と協同して、「21 世紀の都市デザインを構想する国際ジョイントワークショップ」を行ってきた。昨年度の課題内容は、中国・重慶の歴史的街区を敷地とした、当該地域の再編計画であった。住居地域・観光拠点・交通拠点・文化遺産などの現代都市を構想する上で重要となる多種多様なテーマが混在するエリアであり、本課題にふさわしい敷地であった。本年度は、中国・天津を敷地として選定し、世界遺産である古寺を中心とした文化的観光エリアの再編計画を課題とすることを予定している。ここでは、地域の文化や歴史、気候風土、伝統建築や都市の成立過程などとの関連を考慮した、魅力ある文化観光都市への再編計画が求められている。</p>	
〔目的〕	
<p>21 世紀に入り数多くの歴史ある文化施設や商業施設が、建物や機能の老朽化などによって、保存・改築・取り壊しなどの様々な選択を迫られるなか、都市の魅力としての文化施設・商業施設を軸とした都市計画の今後のあり方を考えることは、我が国や世界の諸都市における将来を見据えた都市計画の可能性への提案としても重要である。</p> <p>また、両大学間の学術交流の促進を目的として、中国滞在期間内に東工大教員による一般公開レクチャー、設計課題の講評会なども行う。</p> <p>日本や中国など異なる文化圏に属する学生が、1 つの目標に向かって調査・ディスカッションを重ね、共同作業を行い、最終的に創作的成果物(マスタープランの図面、模型など)を作成するという本プログラムの実施によって、東工大生を中心とした参加学生が、アジアに限定されることのない真に国際性豊かな思考力、プレゼンテーション力およびコミュニケーション能力を、十二分に身につけられることが期待される。</p>	
〔実施計画概要〕	

実施スケジュール予定（2016年11月）

第1日 : 移動日（東京—天津）

第2—3日 : 計画対象地調査・ワークショップ（協同作業）・中間発表1

第4日 : 移動（天津—上海）・ワークショップ（協同作業）

第5—13日 : ワorkshop（協同作業）・東工大教員による一般公開レクチャー・中間発表2、3

第14日 : 最終発表会

第15日 : 移動日（上海—東京）